

第 143 回日商簿記検定試験 模範解答

2 級

商 業 簿 記

第 1 問

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	売買目的有価証券	796,000	当 座 預 金	797,344
	有 価 証 券 利 息	1,344		
2	商品保証引当金	50,000	現 金	80,000
	商 品 保 証 費	30,000		
3	当 座 預 金	8,000,000	資 本 金	4,800,000
			資 本 準 備 金	3,200,000
4	繰越利益剰余金	3,400,000	利 益 準 備 金	200,000
			未 払 配 当 金	2,700,000
			別 途 積 立 金	500,000
5	売 掛 金	432,000	売 上	400,000
			仮 受 消 費 税	32,000

仕訳 1 組につき 4 点 合計 20 点

(配点は、当学院の予想です)

第 2 問

1.

建 物

年 月 日	摘 要	借 方	年 月 日	摘 要	貸 方
27 4 1	前 期 繰 越	7,500,000	28 3 31	次 期 繰 越	8,700,000
27 7 1	未 払 金	1,200,000			
		8,700,000			8,700,000

建 物 減 価 償 却 累 計 額

年 月 日	摘 要	借 方	年 月 日	摘 要	貸 方
28 3 31	次 期 繰 越	2,760,300	27 4 1	前 期 繰 越	2,400,000
			28 3 31	減 価 償 却 費	360,300
		2,760,300			2,760,300

ソ フ ト ウ ェ ア

年 月 日	摘 要	借 方	年 月 日	摘 要	貸 方
27 4 1	前 期 繰 越	3,150,000	28 3 31	ソフトウェア償却	540,000
27 10 1	未 払 金	2,800,000	28 3 31	固定資産除却損	500,000
			28 3 31	次 期 繰 越	4,910,000
		5,950,000			5,950,000

2.

固 定 資 産 管 理 台 帳

平成 28 年 3 月 31 日現在

取得年月日	用途	期末 数量	耐用 年数	期首(期中取得) 取 得 原 価	期 減価償却累計額	差引期首(期中 取得)帳簿価額	当 期 減 価 償 却 費
備品							
平成 23 . 4 . 1	備品 A	10	8 年	1,800,000	(1,399,040)	(400,960)	(125,500)
平成 25 . 4 . 1	備品 B	(3)	6 年	(360,000)	(199,839)	(160,161)	(53,333)
平成 27 . 4 . 1	備品 C	1	8 年	(800,000)	(0)	(800,000)	(200,000)
平成 26 . 4 . 1	備品 PC	10	4 年	2,200,000	(1,100,000)	(1,100,000)	(550,000)
小 計				(5,160,000)	(2,698,880)	(2,461,120)	(928,833)

(別解) 備品 B 期首減価償却累計額は ¥199,840 でも可。

3.

当期の固定資産除却損の金額

¥ 606,774

(別解) 当期の固定資産除却損の金額は ¥606,773 でも可。

1 つにつき 2 点 合計 20 点
(配点は、当学院の予想です)

第 3 問

損 益 計 算 書		
(自平成 27 年 4 月 1 日 至平成 28 年 3 月 31 日)		(単位：円)
I. 売 上 高		(49,017,000)
II. 売 上 原 価		
1. 期首商品棚卸高	(3,800,000)	
2. 当期商品仕入高	(32,651,000)	
計	(36,451,000)	
3. 期末商品棚卸高	(4,200,000)	
差 引	(32,251,000)	
4. (棚 卸 減 耗 損)	(180,000)	
5. 商 品 評 価 損	(190,000)	(32,621,000)
(売 上 総 利 益)		(16,396,000)
III. 販売費及び一般管理費		
1. 給 料	9,608,300	
2. 水 道 光 熱 費	256,500	
3. 保 険 料	(360,000)	
4. 退 職 給 費 費 用	(490,000)	
5. 減 価 償 却 費	(463,500)	
6. 貸 倒 損 失	(30,000)	
7. 貸倒引当金繰入	(35,700)	(11,244,000)
(営 業 利 益)		(5,152,000)
IV. 営 業 外 収 益		
1. 受 取 利 息	(100,000)	
2. 有価証券(評 価 益)	(50,000)	(150,000)
V. 営 業 外 費 用		
1. 支 払 利 息	288,000	
2. 貸倒引当金繰入	(150,000)	
3. 有価証券売却損	964,000	(1,402,000)
(経 常 利 益)		(3,900,000)
VI. 特 別 利 益		
1. 固定資産売却益		(800,000)
VII. 特 別 損 失		
1. (災 害 損 失)		(700,000)
税引前当期純利益		(4,000,000)
法人税、住民税及び事業税		(1,000,000)
当 期 純 利 益		(3,000,000)

1 つにつき 2 点 合計 20 点
(配点は、当学院の予想です)

工 業 簿 記

第 4 問 (20 点)

問 1

仕 掛 品		(単位 : 円)
6/ 1 月 初 有 高	(144,000)	6/30 製 品 (4,488,000)
30 直 接 材 料 費	(2,110,000)	" 月 末 有 高 (144,500)
" 直 接 労 務 費	(1,397,500)	
" 製 造 間 接 費	(981,000)	
	(4,632,500)	(4,632,500)

月 次 損 益 計 算 書

(単位 : 円)

I 売 上 高	9,320,000
II 売 上 原 価	
月初製品有高	560,000
当月製品製造原価	(4,488,000)
合 計	(5,048,000)
月末製品有高	(2,130,000)
差 引	(2,918,000)
原 価 差 異	(139,000)
売上総利益	(3,057,000)
III 販売費および一般管理費	(6,263,000)
営 業 利 益	1,870,000
	(4,393,000)

問 2

予算差異＝	40,000 円	(借方差異)・貸方差異)
操業度差異＝	99,000 円	(借方差異)・貸方差異)

1 つにつき 2 点 合計 20 点
(配点は、当学院の予想です)

第 5 問 (20 点)

問 1	◎ 21,460,000 円	
問 2	◎ 810,400 円	((借方差異)・貸方差異)
問 3	◎ 345,200 円	((借方差異)・貸方差異)
問 4	◎ 297,200 円	((借方差異)・貸方差異)
問 5	○ 66,000 円	((借方差異)・貸方差異)
問 6	○ 42,000 円	((借方差異)・貸方差異)

◎1 つにつき 4 点
○1 つにつき 2 点 合計 20 点
(配点は、当学院の予想です)

【2 級解説】

第 1 問

$$1. \text{ 売買目的有価証券} : ¥800,000 \times \frac{¥99.5}{¥100} = ¥796,000$$

$$\text{有価証券利息} : ¥800,000 \times 0.42\% \times \frac{146\text{日}}{365\text{日}} = ¥1,344$$

$$3. \text{ 資本金} : @¥4,000 \times 2,000 \text{ 株} \times 60\% = ¥4,800,000$$

4. 利益剰余金からの配当を行ったときは、準備金(資本準備金及び利益準備金)の合計額が資本金の 1/4 に達するまでは、株主配当金の 1/10 を利益準備金として積み立てなければなりません。

$$\textcircled{1} \quad ¥900 \times 3,000 \text{ 株} \times 1/10 = ¥270,000 \quad \cdots \text{ 配当額の 10 分の 1}$$

$$\textcircled{2} \quad ¥80,000,000 \div 4 - (¥12,000,000 + ¥7,800,000) = ¥200,000 \quad \cdots \text{ 準備金の積立上限額}$$

$$\textcircled{3} \quad \textcircled{1} > \textcircled{2} \quad \therefore \text{ 利益準備金の積立額 } ¥200,000$$

$$5. \text{ 仮受消費税} : ¥400,000 \times 8\% = ¥32,000$$

第 2 問

当期における一連の仕訳は、以下のようになります。

平成27年 4月 1日 :	(備 品 C)	800,000	(未 払 金)	800,000
	(備品B減価償却累計額)	133,226 ^{*1}	(備 品 B)	240,000
	(固 定 資 産 除 却 損)	106,774		
平成27年 7月 1日 :	(建 物)	1,200,000 ^{*2}	(未 払 金)	1,500,000
	(修 繕 費)	300,000		
平成27年10月 1日 :	(ソフトウェア C)	2,800,000	(未 払 金)	2,800,000
	(ソフトウェア償却)	100,000 ^{*4}	(ソフトウェア A)	600,000 ^{*3}
	(ソフトウェア除却損)	500,000		

$$*1 \quad \text{除却した備品B} : ¥600,000 \times \frac{2}{5} = ¥240,000$$

$$1 \text{ 年目減価償却額} : ¥240,000 \times 0.333 = ¥79,920$$

$$2 \text{ 年目減価償却額} : (¥240,000 - ¥79,920) \times 0.333 = ¥53,306$$

$$\therefore ¥79,920 + ¥53,306 = ¥133,226$$

$$*2 \quad ¥1,500,000 \times 80\% = ¥1,200,000$$

$$*3 \quad ¥2,000,000 - ¥2,000,000 \times 0.1 \times 7 \text{ 年} = ¥600,000$$

$$*4 \quad ¥2,000,000 \times 0.1 \times \frac{6 \text{ カ月}}{12 \text{ カ月}} = ¥100,000$$

平成28年 3月31日 :	(減 価 償 却 費)	360,300 ^{*1}	(建物減価償却累計額)	360,300
	(減 価 償 却 費)	125,500 ^{*2}	(備品A減価償却累計額)	125,500
	(減 価 償 却 費)	53,333 ^{*3}	(備品B減価償却累計額)	53,333
	(減 価 償 却 費)	200,000 ^{*4}	(備品C減価償却累計額)	200,000
	(減 価 償 却 費)	550,000 ^{*5}	(備品 PC 減価償却累計額)	550,000
	(ソフトウェア償却)	300,000 ^{*6}	(ソフトウェア B)	300,000
	(ソフトウェア償却)	140,000 ^{*7}	(ソフトウェア C)	140,000

*1 建物の取得から前期末までの減価償却額： $¥7,500,000 \times 0.04 \times 8 \text{ 年} = ¥2,400,000$

当期償却額 既 存 分： $¥7,500,000 \times 0.04 = ¥300,000$

期中取得分： $¥1,200,000 \times 0.067 \times \frac{9 \text{ カ月}}{12 \text{ カ月}} = ¥60,300$ 合計 ¥360,300

*2 1 年目減価償却額： $¥1,800,000 \times 0.313 = ¥563,400$

2 年目減価償却額： $(¥1,800,000 - ¥563,400) \times 0.313 = ¥387,055$

3 年目減価償却額： $(¥1,800,000 - ¥950,455) \times 0.313 = ¥265,907$

4 年目減価償却額： $(¥1,800,000 - ¥1,216,362) \times 0.313 = ¥182,678$ ∴期首減価償却累計額 ¥1,399,040

当 期減価償却額： $(¥1,800,000 - ¥1,399,040) \times 0.313 = ¥125,500$

*3 備品 B の期末有価： $¥600,000 \times \frac{3}{5} = ¥360,000$

1 年目減価償却額： $¥360,000 \times 0.333 = ¥119,880$

2 年目減価償却額： $(¥360,000 - ¥119,880) \times 0.333 = ¥79,959$ ∴期首減価償却累計額 ¥199,839

当 期減価償却額： $(¥360,000 - ¥199,839) \times 0.333 = ¥53,333$

*4 当期減価償却額： $¥800,000 \times 0.25 = ¥200,000$

*5 1 年目減価償却額： $¥2,200,000 \times 0.5 = ¥1,100,000$ ∴期首減価償却累計額 ¥1,100,000

当 期減価償却額： $(¥2,200,000 - ¥1,100,000) \times 0.5 = ¥550,000$

*6 1 年目減価償却額： $¥3,000,000 \times 0.1 \times \frac{6 \text{ カ月}}{12 \text{ カ月}} = ¥150,000$

2 年目減価償却額： $¥3,000,000 \times 0.1 = ¥300,000$

当期償却額： $¥3,000,000 \times 0.1 = ¥300,000$

*7 当期償却額： $¥2,800,000 \times 0.1 \times \frac{6 \text{ カ月}}{12 \text{ カ月}} = ¥140,000$

第 3 問

[資料 2]

1. 建物について

(建	物)	600,000	(修	繕	費)	600,000
-----	-----	---------	-----	---	-----	---------

2. 売上について

(売	掛	金)	70,000	(売	上)	70,000
-----	---	-----	--------	-----	-----	--------

3. 貸し倒れについて

(貸	倒	引	当	金)	20,000	(売	掛	金)	50,000
(貸	倒	損	失)	30,000					

〔資料 3〕

1. 売上原価の算定について

(仕 入)	3,800,000	(繰 越 商 品)	3,800,000
(繰 越 商 品)	4,200,000	(仕 入)	4,200,000
(棚 卸 減 耗 損)	180,000	(繰 越 商 品)	370,000
(商 品 評 価 損)	190,000		

2. 貸倒引当金の設定について

(貸 倒 引 当 金 繰 入)	35,700 *	(貸 倒 引 当 金)	35,700
-------------------	----------	---------------	--------

決算整理後の貸倒引当金残高が貸倒見積高になるように、決算整理前残高との差額を繰り入れま
す。

* クレジット売掛金： $\yen1,800,000 \times 0.5\% = \yen9,000$

受取手形および売掛金： $(\yen3,087,000 + \yen5,163,000 + \yen70,000 - \yen50,000) \times 1\% = \yen82,700$

貸倒引当金繰入額： $(\yen9,000 + \yen82,700) - (\yen76,000 - \yen20,000) = \yen35,700$

3. 減価償却について

(減 価 償 却 費)	463,500	(建 物 減 価 償 却 累 計 額)	103,500 ^{*1}
		(車 両 運 搬 具 減 価 償 却 累 計 額)	360,000 ^{*2}

*1 既存分： $\yen4,000,000 \times 0.9 \div 40 \text{ 年} = \yen90,000$

当期取得分： $\yen3,600,000 \times 0.9 \div 40 \text{ 年} \times \frac{2 \text{ カ 月}}{12 \text{ カ 月}} = \yen13,500$ 合計 $\yen103,500$

*2 $\yen2,000,000 \times 0.9 \times \frac{40,000 \text{ km}}{200,000 \text{ km}} = \yen360,000$

4. 有価証券について

(売 買 目 的 有 価 証 券)	50,000 ^{*1}	(有 価 証 券 評 価 益)	50,000
(そ の 他 有 価 証 券)	30,000 ^{*2}	(そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金)	30,000

*1 時価 $\yen600,000$ - 簿価 $\yen550,000 = \yen50,000$

*2 時価 $\yen750,000$ - 簿価 $\yen720,000 = \yen30,000$

5. 退職給付引当金について

(退 職 給 付 費 用)	490,000	(退 職 給 付 引 当 金)	490,000
-----------------	---------	-------------------	---------

6. 保険料について

(前 払 保 険 料)	60,000 *	(保 険 料)	60,000
---------------	----------	-----------	--------

当期支払った保険料のうち、2 カ月分(翌 4/1～5/31 分)は次期の期間に対するものなので、これを当期
の保険料から減額し、次期に繰り延べます。

なお、決算整理前の保険料 $\yen420,000$ は、期首再振替で計上された 2 カ月分と当期 6 月 1 日に支払った
12 カ月分を合わせた 14 カ月分を表します。

* $\yen420,000 \times \frac{2 \text{ カ 月}}{14 \text{ カ 月}} = \yen60,000$

7. 貸付金について

(未 収 利 息)	100,000 *	(受 取 利 息)	100,000
-------------	-----------	-------------	---------

* $\yen5,000,000 \times 4.8\% \times \frac{5 \text{ カ 月}}{12 \text{ カ 月}} = \yen100,000$

(貸倒引当金繰入)	150,000 *	(貸倒引当金)	150,000
-------------	-----------	-----------	---------

貸付金に対する貸倒引当金繰入額は、営業外費用として表示します。

$$* \quad ¥5,000,000 \times 3\% = ¥150,000$$

8. 法人税等について

(法人税、住民税及び事業税)	1,000,000	(未払法人税等)	1,000,000
------------------	-----------	------------	-----------

第 4 問

問 1 製造間接費予定配賦率： $\frac{12,960,000 \text{円}}{14,400 \text{時間}} = 900 \text{円/時間}$

各製造指図書別原価計算表

	#12	#13	#13-2	#14	#15	合 計
前月繰越	144,000	—	—	—	—	144,000
当月製造費用						
直接材料費	300,000	820,000	70,000	840,000	80,000	2,110,000
直接労務費	160,000	350,000	100,000	750,000	37,500	1,397,500
製造間接費	90,000	252,000	72,000	540,000	27,000	981,000
合 計	694,000	1,422,000	242,000	2,130,000	144,500	4,632,500
	完 成	完 成	完 成	完 成	未完成	

製造間接費配賦差異

$$\text{予定配賦額 } 981,000 \text{円} - \text{実際発生額 } ¥1,120,000 \text{円} = \triangle 139,000 \text{円 (借方差異：売上原価に加算)}$$

仕 掛 品 (単位：円)		製 品 (単位：円)	
#12 : 144,000	#12 : 694,000	#11 : 560,000	#11 : 560,000
#12 : 550,000	#13 : 1,664,000	#12 : 694,000	#12 : 694,000
#13 : 1,422,000	#14 : 2,130,000	#13 : 1,664,000	#13 : 1,664,000
#13-2 : 242,000		#14 : 2,130,000	#14 : 2,130,000
#14 : 2,130,000	#15 : 144,500		
#15 : 144,500			

※ #13-2 の製造指図書は #13 の仕損補修のための製造指図書なので、正常仕損費として #13 の製造原価に加えます。

問 2 製造間接費月間予算額： $12,960,000 \text{円} \div 12 \text{ヵ月} = 1,080,000 \text{円}$

$$\text{予算差異：予算許容額 } 1,080,000 \text{円} - \text{実際 } 1,120,000 \text{円} = \triangle 40,000 \text{円 (借方差異)}$$

$$\text{操業度差異：予定配賦額 } 981,000 \text{円} - \text{予算許容額 } 1,080,000 \text{円} = \triangle 99,000 \text{円 (借方差異)}$$

第 5 問

問 1 $5,800 \text{ 円/個} \times 3,700 \text{ 個} = 21,460,000 \text{ 円}$

問 2 標準原価総額： $5,800 \text{ 円/個} \times 3,700 \text{ 個} = 21,460,000 \text{ 円}$

実際原価総額： $12,185,200 \text{ 円} + 4,211,200 \text{ 円} + 5,874,000 \text{ 円} = 22,270,400 \text{ 円}$

原価差異総額： $21,460,000 \text{ 円} - 22,270,400 \text{ 円} = \triangle 810,400 \text{ 円}$ (借方差異)

問 3 標準直接材料費： $3,200 \text{ 円/個} \times 3,700 \text{ 個} = 11,840,000 \text{ 円}$

実際直接材料費： $12,185,200 \text{ 円}$

直接材料費差異： $11,840,000 \text{ 円} - 12,185,200 \text{ 円} = \triangle 345,200 \text{ 円}$ (借方差異)

問 4

820 円	価 格 差 異	
800 円	標準原価	数 量 差 異
	14,800kg	14,860kg

標準消費量： $4\text{kg/個} \times 3,700 \text{ 個} = 14,800\text{kg}$

価 格 差 異： $(800 \text{ 円} - 820 \text{ 円}) \times 14,860\text{kg} = \triangle 297,200 \text{ 円}$ (借方差異)

数 量 差 異： $800 \text{ 円/kg} \times (14,800\text{kg} - 14,860\text{kg})$
 $= \triangle 48,000 \text{ 円}$ (借方差異)

問 5

2,240 円	賃 率 差 異	
2,200 円	標準原価	時 間 差 異
	1,850 時間	1,880 時間

標準作業時間： $0.5 \text{ 時間/個} \times 3,700 \text{ 個} = 1,850 \text{ 時間}$

賃率差異： $(2,200 \text{ 円/時間} - 2,240 \text{ 円/時間}) \times 1,880 \text{ 時間}$
 $= \triangle 75,200 \text{ 円}$ (借方差異)

時間差異： $2,200 \text{ 円/時間} \times (1,850 \text{ 時間} - 1,880 \text{ 時間})$
 $= \triangle 66,000 \text{ 円}$ (借方差異)

問 6

製造間接費標準配賦率： $\frac{33,600,000 \text{ 円} + 38,400,000 \text{ 円}}{24,000 \text{ 時間}} = 3,000 \text{ 円/時間}$ (変動費率 1,400 円/時間、固定費率 1,600 円/時間)

製造間接費予算額： $1,400 \text{ 円/時間} \times 1,880 \text{ 時間} + \text{月間固定費 } 3,200,000 \text{ 円} = 5,832,000 \text{ 円}$

予算差異： $5,832,000 \text{ 円} - 5,874,000 \text{ 円} = \triangle 42,000 \text{ 円}$ (借方差異)